

①市民生活と道路について②市営球場の修繕について 金銅 成悟 議員

問 ①市民が快適かつ安全に生活する上で、道路の適切な維持管理は重要であり、また人口増加を図るためにも、道路予算や人材の確保についての考えを聞きたい。
②老朽化した市営球場、特にスコアボードやフェンスの修繕についての考えをお聞きたい。

答 ①道路の維持管理を進めていくには、予算に併せて人材も欠かせません。今後も予算の確保に併せ、技術職員の人材確保を積極的に行いながら、適切な維持管理に努めていきたいと考えております。
②厳しい財政状況ではありますが、奈良県での次期国体の開催も見据えながら、各種助成金等活用できる財源を模索しながら年次計画的に整備に努めたいと考えております。

学校教育について

吉川 幸喜 議員

問 学校で新型コロナウイルスの陽性者が出た場合の対応と、子供たちの様子などをお聞かせください。また、感染拡大の影響で、GIGAスクール構想が全国的に前倒しで進められていますが、本市の進捗状況は？

答 陽性が判明すると、校内の消毒作業と保健所による濃厚接触者の特定調査をします。PCR検査で陰性であっても、濃厚接触者は約2週間の自宅待機となります。各学校には既にタブレット端末が納入されており、授業での使用は、Wi-Fi環境などの整備が整い次第となりますが、現在、自宅待機となっている児童・生徒の学習保障としてタブレットを活用し「授業の配信」や「教員との会話」などができるよう対応しております。

2日目

県域水道一体化について

上田 健二 議員

問 県域水道一体化では、県水100%にして北郡山浄水場を令和8年に廃止し、昭和浄水場を令和23年に廃止するとされています。一方で、市単独で水道事業を行う場合は、自己水源を活用するために浄水場を更新することです。本市は、水道財産をどうするおつもりか、お聞きます。

答 内部留保資金を含む水道財産については、市民の皆様から頂いた水道料金によって蓄積された資金や先人の労苦によって築かれた施設でありますので、大切にしながら、老朽化対策、更新等を市内部で検討し、必要であれば県とも協議していきたいと考えております。
・他の質問項目：塩漬け土地について

市の発展について

富野 孝之 議員

問 一般企業出身の私が考える「市の発展」とは、市と市民の収入増です。全産業の特産物（商業、工業、農業水産、工芸品）や店をPRし販売に直結させる商業施設を、市が様々な仕掛けをされている郡山市街のど真ん中に設けることを農業振興の施策強化とともに提案します。市がお考えの市の発展についての施策をお聞かせ下さい。

答 本市では、商店街への支援や観光客の誘致、農産物全般の販売促進等の取り組みを実施しており、これらの施策により、市街地の賑わい創出、商業の活性化や地域ブランドの向上を図り、農水産物の販売支援にも力を入れ、本市の将来像「あふれる夢と希望と誇り、暮らしてみたい元気城下町」の達成に取り組んでおります。

主権者教育について

関本 真樹 議員

問 子どもたちが身近な事柄や社会の問題を自分ごととしてとらえ、自ら主体的に調べて、考え、判断して行動できるような主権者教育が必要だと考えます。市はこれをどのように進めていこうと考えているのか。

答 学校では学級会活動や生徒会選挙等で社会の一員として必要な思考力や判断力を育む学習が進められています。市教委で2年前から実施している中学生サミット・小学生サミットでは、学校や市全体に対して、しっかりと準備をして自分の意見を堂々と発表する姿が見られます。子どもたちが地域に愛着や誇りをもち、社会と自分が結びついていると考えられる教育を今後も進めてまいります。
・他の質問項目：AI・RPAの活用について

県域水道一体化と市の対応について

丸谷 利一 議員

問 県域水道一体化問題で本市は、県知事から厳しい批判を受けている。このままでは、市民の水道事業で貯めた内部留保金82億円は一体化で吸い上げられる恐れがある。市は、内部留保金は市民のために使うと言明し、一体化にあたり水道の資産・負債の均一化のルール作りを主張しているが、市長はこの方針で覚悟を持って臨むのか？

答 県域水道一体化については、市広報紙1月10日号に再度掲載予定です。28億円を含む内部留保資金82億円は、引継ぎのルール作りが必要と考えており、様々な角度から話し合いをしていくべきと考えております。
・他の質問項目：教育委員会の人事問題について
上田市政について